

何が起きたのか、その1

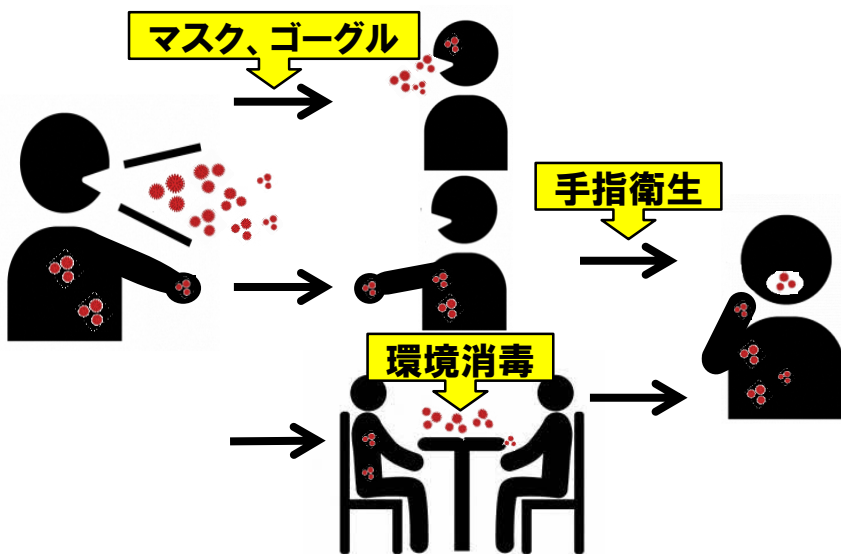
感染者(PCR陽性)が認識される前に、
施設内にウイルスが拡散した



【学び】 日常的な感染対策の重要性

- ① マスク、ソーシャルディスタンス、換気
- ② 標準予防策の重要性

伝播経路は3つに集約される



やはり、手指衛生

置けないなら、持とう

いつでも
どこでも
手指を清潔に



職員はマスクをしていたが
利用者はマスクをしていなかった

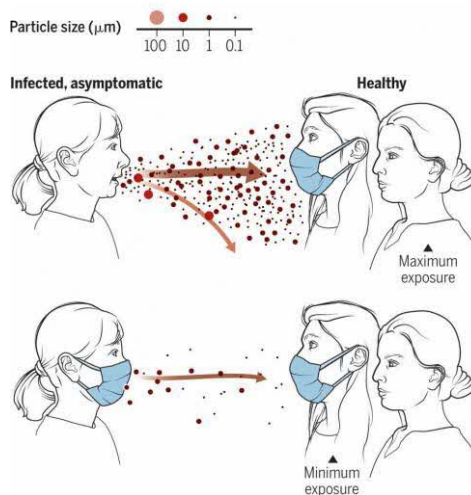


2mの距離は開けていた

Masks reduce airborne transmission.

Masks reduce airborne transmission

両者がマスクをすると曝露リスクは大きく減少



GRAPHIC: V. ALTOUNIAN/SCIENCE
Copyright © 2020, American Association for the Advancement of Science

Kimberly A. Prather et al. *Science* 2020;science.abc6197

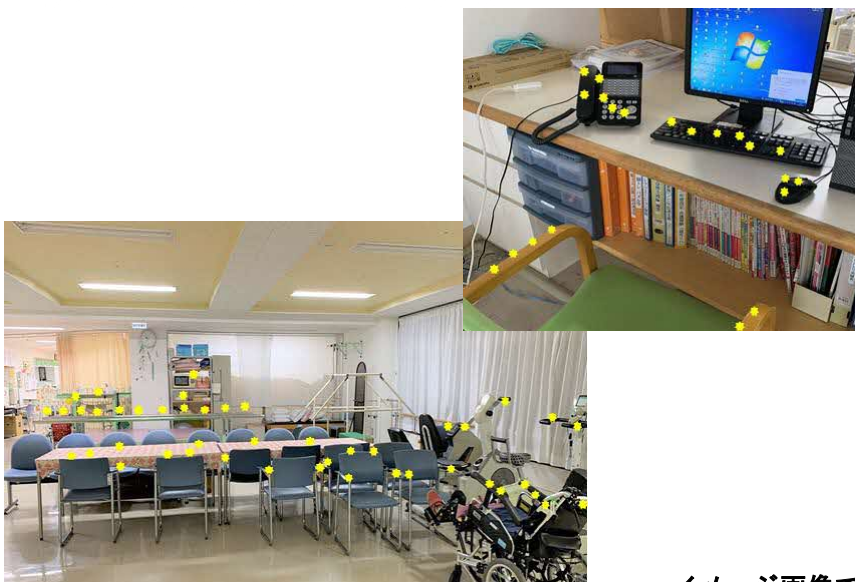
Science
AAAS

危ない、と思ったら眼もガードしよう



新型コロナウイルスであっても、なくても。

“手がよく触れる部分”を清掃・消毒する



イメージ画像です

ウイルスは便中に排泄される トイレ・手すりの清掃は重要



イメージ画像です

盲点：職員の交差が起きる環境

休憩室・仮眠室・更衣室・職員トイレ



イメージ画像です

環境衛生を業務化＝組織的な感染対策

- ・一日何回？
- ・誰が？
- ・どの箇所を？
- ・どんな消毒薬で？
- ・どんな手順で？

マニユアルに記載
実施されているか評価



消毒薬にまつわる誤解のあれこれ

- アルコールを白衣に噴霧
- アルコールを空気中に噴霧
- アルコールを靴や靴底に噴霧
- スプレーボトルにアルコールを継ぎ足す
- 次亜塩素酸ナトリウム液の噴霧



何が起きたのか、その2

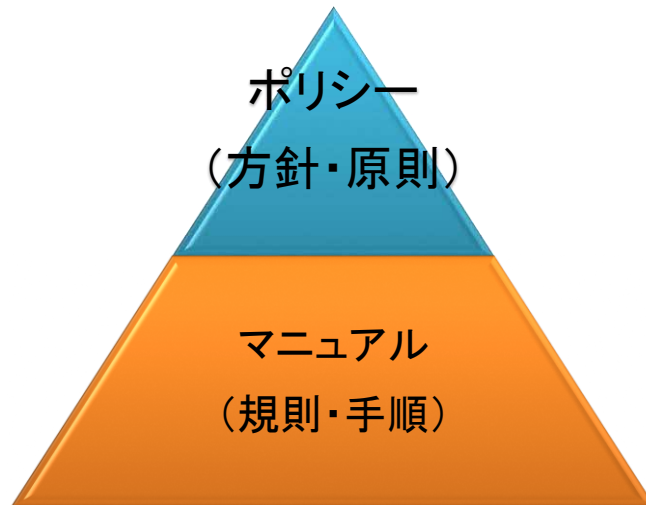
感染発生時の**初動対応のスピード**は時間単位
適切な判断と行動が求められた



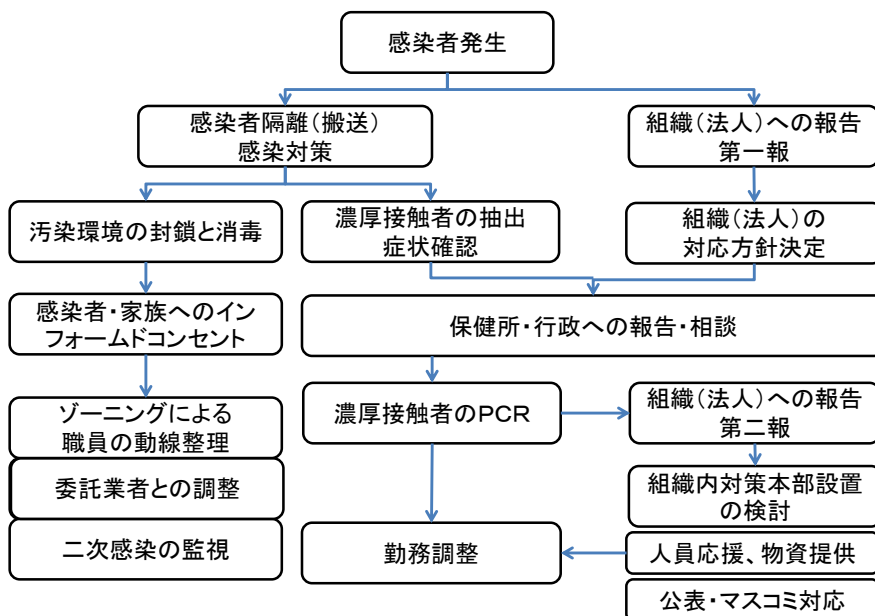
【学び】 **組織としての危機管理体制の構築が必要**

- ① COVID-19に対する組織の対応方針を定める
- ② 誰が、いつ、何を、どのように行うのか決めておく
- ③ 「なすべきことを全てやったか？」がチェックする

新型コロナウイルス対策は 人命にかかわる最優先事項である



初動対応(例)



外来スペースと入居スペース ヒト・モノの流れを分離

どうしても共有せざる得ない場合は、工夫が必要

- 時間を分けて使用
- 環境・器具の消毒
- 使用後の換気
- 使用前後の手指衛生
- 職員の防護具交換など



職員間の伝播防止の新ルール

- ・ 休憩・食事のルール
 - ・ 手洗い
 - ・ テーブル消毒
 - ・ 換気
 - ・ 他者と2mの距離を開ける
- ・ 禁煙推奨
 - ・ 喫煙室は閉鎖が望ましい
 - ・ だめなら一人ずつ使用

